

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人育徳学園 フレンズ幼稚園

1. 本園の教育目標

- ◎基本理念 「みんなの笑顔があふれ、毎日が楽しい幼稚園。」
- ◎教育目標
 - ・健康で生き生きとした子どもを育てる。
 - ・情操豊かで、自らを表現できる子どもを育てる。
 - ・集団生活のルールを守り、友達と仲良く遊べる子どもを育てる。
 - ・自ら取り組み、最後までがんばれる子どもを育てる。
 - ・思いやりのある優しい子どもを育てる。

2. 本年度の重点的に取り組む目標

「フレンズの7つの心を理解し生活の中に取り入れる」

フレンズの7つの心が、唱和するだけで意味を理解できていないのではないだろうか?保育の中で教師が意識して子どもたちに伝えることで、子どもたちの意識も深まることを願い、理解へとつながるよう取り組んでいきたい

☆にこにこ: にこにこクラスにもフレンズの7つの心を掲示する。フレンズの7つの心を知る

☆年少組 : 挨拶、返事のチャンピオンをクラスで呼びかけ、表を掲示する

☆年中組 : ありがとうの会を設け、生活のなかで「ありがとう」と感じたことを発表するようにする

☆年長組 : 1つ1つの項目の意味を知らせ、意味を理解したうえで行動に移せるように指導していく

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

		評価/ A:達成している B:一部達成している C:一部改善を要する D:改善を要する	
評価項目	内 容	評価	備考(評価の理由など)
保育内容と計画	園の教育理念・教育方針を理解しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ●教育理念は毎週の読み合わせ、教育方針は学期毎の振り返りで再確認できている。 ●毎週提出の各自の反省で、保育計画の見直しを行うことができています。 ●サイバードリームは、毎日子供たちが楽しみにしていて時間の確保もほぼできています。 ●漢字絵本は、昨年の反省から指差しや、カードのみなど短時間でも取り組む工夫ができたため、行う時間が増えたと感じる。 ●フレンズの7つの心を毎日唱和し、どんな意味があるのかを伝えるように心がけた。 ●給食では、ごはん(米粒)を残さないように取り組んできた。 ●田植えや、稲刈り体験など初めて取り組んだ行事もあったが、子どもたちにとって良い経験になったと感じる。 ●行事が終わるたびに、反省を行い次年度につなげられるよう記録を残してきた。
	本年度の保育計画は適切であったか	B	
	PDCA(目標・実行・評価・改善)サイクルに基づいた保育計画が立てられているか	A	
	保育計画は「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえたものであったか	A	
	英語学習システム「サイバードリーム」や「漢字絵本」「俳句」に毎日取り組んでいるか	B	
	各学年の目標に向けての取り組みが継続して行うことができたか	A	
子どもの接し方	幼児一人一人を認め理解に努めているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとの会話や生活の中から、今何に興味を持っているかを探ってきた。 ●園児一人ひとりに目を向けて、それぞれの課題に沿って関わるよう心がけてきた。 ●週の反省にて毎週振り返りをする中で、前週の子どもの姿が見られ、実感の把握がしやすい。 ●創意工夫については、クラスの子もたちとやってみようという気持ちも園行事に追われ自由に保育する時間がないと感じた。 ●身近に相談できる教員(園長、主任、フリー教員)がいることで、多方面からフォローしてもらえ、 ●褒めること、叱ることをメリハリをもって行ってきた。 ●マイナスな言葉かけよりもプラスの言葉かけを意識して保育した。
	毎日の保育を振り返り、以後の保育に活かすようにしているか	A	
	常に創意工夫をもって保育を実践しているか	A	
	幼児の声に耳を傾け、同じ目線で接することが出来ているか	A	
	褒めたり励ましたりしながら、幼児が自信をもって活動できるような指導を行っているか	A	
環境の構成・衛生	幼児の興味関心を育む環境構成をしているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ●新年度が始まってすぐ保育室の環境構成について教えてもらったので一年間子どもの遊びやすい回線を考えながら設定することができた。 ●季節を感じるができる製作に取り組んできた。 ●玩具を貸し出し用にする事になり、子どもたちの遊びの幅も広がり、保育室も片づけがしやすくなった。 ●行事前にしか季節の花を用意できなかった。いつでも花を飾るようにしたい ●トイレ掃除を補助の先生にお願いすることが多かった。週末には、除菌など細かいところまで学年で気をつけて清掃に心がけた。
	保育室、園庭、遊具等の安全で清潔な環境構成をしているか	A	
	幼児が安心して遊びこめる環境構成をしているか	A	
	遊具やコーナーの設定は、幼児の動線を考えたものになっているか	A	
	季節が感じられる等、豊かな感性を育むことができる工夫をしているか	A	
協力・連携・役割	報告・連絡・相談を適切に行っているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ●朝礼、終礼、職員会議等で報告、連絡、相談をする機会は十分あるが、日々の生活の中で何を連絡し、何を相談すべきかが分かっていない教員がいる。 ●2歳児について研究発表の機会を与えてもらったことで年少以上の先生との連携が深まってきた。多くの見直しが行われたと感じる。 ●補助職員が増えてきているので、連携を大切にしていきたい。 ●後輩指導については、中堅がもう少し前に出てほしいと感じた。
	教職員が共有すべき必要な情報を共通理解できているか	A	
	守秘義務を守れているか	A	
	後輩への指導が適切に行われたか	B	

特に配慮が必要な 幼児への支援	個別の話し合いが職員間で行われているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ●同じ学年の教師や園長、主任とは共有できているが、全教員には伝わっていないこともあった。 ●支援児が多くなってきている。経験のある先生にお願いすることが多いが補助教諭も入るのでもう少し振り分けた方がクラス運営しやすいと感じる ●個人懇談の時に気になる園児には保護者に話をした(事前に主任と連携した) ●グレーゾーンの子については、個性かどうかは見極めが難しい。
	段階を踏みながら、必要な情報をきちんと保護者に伝えられているか	A	
	保護者の相談を親身に受けているか	A	
	医療機関や関係機関と連携をとり、情報交換を行い支援に役立っている	A	
保護者への対応 ・家庭支援	幼児の成長や変化を保護者に伝え喜びを共有するように努めている	A	<ul style="list-style-type: none"> ●「クラスだより」や「おたより」を通して、成長や変化を保護者と共有することができた。 ●子どもの小さな成長に気づき、目標を達成できた時にはお知らせし、一緒に喜んできた ●担任だけでは対応に困ることは、先輩の先生に相談して適切な対応ができるようにしている ●良いところは共有できるようにするが、良くないことをどこまで伝えるべきか迷うことがある。言いつばなしにならないように気をつけている
	幼児の気になる様子を保護者に伝えている	A	
	保護者からの様々な相談に対して適切に対応している	A	
	保護者との対応は公平を欠かさないように心がけている	A	

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
A	自己評価を行い、改善すべき点が見えてきた。今年度は、5月よりコロナが5類となり、たくさんの園行事を実施することができた。子どもたちはもちろん、保護者の方からも喜びの声が寄せられた。今後もPDCAのサイクルに基づき、充実した園生活が送れるよう柔軟に対応していきたいと思う。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保育目標への取り組みについて	内容が難しかったと感じる職員がいた。各クラスの取り組みを発表する場を設け、良い取り組みは園全体で共有していくことで、難しいと感じていた職員も具体的な取り組み方がわかってよかったのではないかと感じた。
漢字絵本サイバードリーム	漢字絵本については、昨年よりもしっかり取り組むことができた。時間を見つけ、素話のみ、指差しのみなど少しでも取り組めるよう各クラス工夫が見られた。サイバードリームは、3学期からにこにこクラスも開始した。
後輩への指導	学年主任からの指導だけでなく、中堅に指導力が求められる。若い先生がバス添乗がない日に率先して乗ってくれているが、全職員で交代で乗るようにしたい。後輩への指導時間を確保できるような工夫をしていきたい。

6. 学校関係者評価委員の評価

まずは、一年間有難うございました。フレンズ幼稚園の教職員の皆様が高い評価をし、自信をもって行動出来ているということですので、大変嬉しく思います。幼稚園として、昨年少し課題に感じていた箇所もしっかりと改善されている点が素晴らしいです。コロナが5類になったことで田植えや稲刈りの新しい体験や、その他沢山の行事を無事に開催することが出来たのも良かったです。2歳児クラスと、年少以上のクラスの先生との連携が深まってきていることも子どもたちにとっても良いことだと感じました。来年度も、みんなの笑顔があふれ、幼稚園で楽しい毎日が送れることを願っています。1年間有難うございました。

園で取り組む目標を立て、学年ごとに色々工夫して実行して頂いていることが印象的でした。今年度は、にこにこクラスも「4年保育」の園の一員として早い時期から制服着用したり、先生方もにこにこクラスでどのような保育をしているか共有していったということで、とても良い取り組みだなと感じました。昨年度、反省点として出していた漢字絵本や、サイバードリームの時間がなかなか作れないという所も、今年度はコロナが5類になり行事が増えた中でも取り組んで頂けたということで、先生方の細かな努力を感じる事ができました。どのようにすれば出来るか、常に考えて頂き、子どもたちが沢山の経験を出来ているとっております。有り難うございました。

毎日子どもたちへ愛情をもって接し、温かく見守って下さる先生の皆様、園関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有り難うございます。今年度は、コロナが5類に移行され園行事も制限なく通常と変わらず実施され大変に充実した一年に感じました。その裏では、先生方が通常保育に加え、行事の準備などでご多忙の中実施されていたことを考えるとより一層感謝の気持ちが深まりました。今年度、初めて役員をさせて頂き今年度の評価報告書についてもお話を伺う貴重な機会を頂きました。PDCA(目標、実行、評価、改善)サイクルに基づき園全体で日々より良い保育を目指し、行動されていることに感銘を受けました。「フレンズの7つの心」を私自身も今一度意味を深め、家庭生活でも意識して参りたいと思いました。園、家庭としっかりした連携を図りながら、子どもたちの更なる成長を願いお手伝い出来ることはさせて頂こうと思いました。今後ともよろしくお願い致します。

学校評価委員

学校評価委員

学校評価委員